

令和4年度第5回新興感染症等対策検討部会（要旨）

1 要 旨

令和4年12月27日、第5回「静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議新興感染症等対策検討部会」を開催し、「情報プラットフォーム」について御意見を伺うとともに、「感染症対策に係る人材育成」について報告を行った。

2 概 要

（1）協議事項「情報プラットフォーム」

（事務局説明）

感染症の発生届が情報の起点となる感染症対策業務のデジタル化に向け、情報プラットフォームの基本機能案について説明し、情報プラットフォームの方向性、蓄積すべき情報について意見を伺った。

項目	内容
国システムとの連携	・国の感染症発生動向調査システム（以下「NESID」という。）が更改され、医師による感染症の発生届を、医療機関が直接 NESID へ入力可能となったことも踏まえ、NESID から発生届のデータを全件取込むことを検討
データベース管理	・クラウド上のデータベースを想定 ・蓄積するデータ量（種類）がランニングコストに影響するため、費用対効果も検討
蓄積・発信する情報	・発生届以外にも共有を図る必要がある情報（病床利用状況、ワクチン接種状況等）は、積極的に取入れることを検討。 ・情報を加工して、どこの地域で、どんな感染症が、どの年代に流行しているのかがわかるような情報を、グラフ、オープンデータ等として提供することを検討（個人情報の保護に留意）

<委員意見等>

クラウド利用によるコスト、セキュリティ、国のシステムとの連携について多くの意見が出たが、情報プラットフォームの方向性については概ね了解を得た。

- ・データ量が多くなる場合、クラウドでのデータ管理はコストがかさむのではないか。
- ・データのロケーション等について、デジタル戦略顧問に助言を求めたらどうか。
- ・個人情報法は法、条例等に沿った形で扱い、アクセス制御に注意すること。
- ・今後、国のシステムとの連携、ベンダーなど、いろいろなことを決めていく必要がある。
- ・最終的には医療のプラットフォームにつながっていくのではないか。
- ・東京都では、各種データを横串で繋ぐことを考えているようで、統計としての活用が少しずつ始まっている。

(2) 協議事項「感染症対策を担う人材育成」

(事務局説明)

「感染症対策を担う人材育成」について、福祉・介護施設の管理者等を対象とした感染症対応研修の実績を報告するとともに、令和5年度の研修実施について、優先順位、研修内容等についてご意見を伺った。

<本年度研修実績>

行政説明 「新型コロナウイルス感染症等静岡県の状況」

(健康福祉部参事 後藤 幹生)

講義 1 感染症の発生から収束まで～心構えと基本的感染症対策～

(静岡県立静岡がんセンター感染症内科部長 倉井 華子先生)

講義 2 クラスタ発生時の業務継続のためには、どんな備えが必要か?～災害医療の視点から俯瞰的に考える～

(浜松医科大学附属病院 救急部助教 高橋 善明先生)

<開催実績>

(単位：人)

開催地区	開催日	会場	参加者		オンデマンド 配信希望者
			会場	Web	
東部地区	10月7日	プラサヴェルデ コンベンションホールB	32	95	328
西部地区	11月9日	アクトシティ浜松 41会議室	47	98	
中部地区	11月11日	県男女共同参画センター(あざれあ) 大ホール	26	99	
計			105	292	

<令和5年度の研修実施についての整理点>

- ・福祉施設職員から優先的に実施
- ・福祉施設向けの研修内容は、これまでの当部会の意見を元に再整理し、**基礎研修＋専門研修として実施**
- ・研修は**集合＋Web**を基本に、**オンデマンド配信を併用**
- ・医療機関・行政職員向けの研修については、今後の当部会で検討

<委員意見等>

令和5年度の研修実施についての整理点について、概ね了解を得た。

- ・今年の研修内容を生かしてクラスター対応している施設があった。

- ・管理者を重点的に対象にして行った方がよい。
- ・研修は1回だけでなく、反復・継続して受講することが必要。
- ・研修の資料、情報も適宜アップデートする必要がある。
- ・令和5年度中にBCPの作成が介護福祉施設に義務付けられ、施設の収入に影響が出るのではないかと。
- ・各研修実施主体の研修内容、目指す水準等について整合性を確認する必要があるのではないかと。

＜本会議を受けた今後の県の対応＞

- ▶ 情報プラットフォームについて、電子県庁課の協力、デジタル戦略顧問の助言等を得ながら検討を進めていく。
- ▶ 病院協会や看護協会等、他の研修実施主体と協議を行い、研修内容、目指す水準について整合性を図る。